

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市立乳児院		
管理者名	社会福祉法人愛宕福祉会	指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当課	こども未来部こども政策課		
所在地	新潟市中央区川岸町1丁目57番地1		
根拠法令	児童福祉法第37条		
設置条例	新潟市乳児院条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 544.61㎡ ・延床面積 469.80㎡ ・構造・階高 木造 地上2階建 ・施設内容 養育室（共用ラウンジ、寝室、ほふくスペース、キッチン等）、 応接・相談室、診察室、調理室、事務室、親子生活訓練室等 ・定員 10名 ※平成30年度改定 		

施設設置目的
<p>保護者の離婚や病気、養育困難、虐待されている乳児、その他不適切な環境により、家庭で育てることが困難な場合に、児童相談所の判断で乳児（保健上、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、幼児を含む。）を預かって養育し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。</p>

管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1 基本理念</p> <p>社会的養護の理念と原理のもとに、乳幼児の心身及び社会性の健全な発達を促進し、その人格の形成に資する養育を行うとともに、児童相談所や児童福祉施設等の関係機関と密接な連携を図り、乳幼児に適切な支援を行うこと。</p>
<p>2 重点政策</p> <p>(1) 養育・支援 乳幼児の命を守り、その心身及び社会性の健全な発達を促進するため、家庭的な環境で一人一人の心に寄り添い、愛着関係を築き信頼関係を育むとともに、発達を支援する環境を整える。</p> <p>(2) 家庭・里親への支援 家庭復帰に向けた親子関係の再構築支援を行い、また、里親への委託に向けた取組を行う。</p> <p>(3) 自立支援計画、記録 子ども一人一人の心身の状況や、生活状況等を正確に把握した、自立支援計画を策定する。</p> <p>(4) 関連機関連携、地域連携及び支援 市、児童相談所、里親会、医療機関及び他施設等の関係機関等との連携・協力体制を構築する。また、地域の里親支援、子育て支援等に取り組むなど、施設のソーシャルワーク機能を活用し、地域の拠点となる取組を行う。</p> <p>(5) 職員の質の向上 定期的に研修に取り組む等、職員一人一人の質を向上させ、施設全体の養育・支援の質を向上させる。</p>
<p>2 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、施設の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、保護者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。</p> <p>(5) 保護者等や地元等からの要望等に対し、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたるものとする。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	サービス満足度	里親研修受講者等へのアンケートを実施し、「満足」が80%以上	里親研修受講者27名にアンケートを実施した。100%が良い(満足)であった。	A	視察・研修受け入れ等のアンケートでは、職員対応につき高い評価を得た。
	苦情・要望への対応	原則7日以内に回答	苦情はなかった。	A	苦情0件である点を評価する
財 務	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支状況の記録	法人経理規定、経理マニュアルに基づき適切に管理した。	B	指標どおりであった。
	管理経費の削減	管理経費削減計画に基づき削減に着手	昨年度に引き続き法人事務部会で、各事業所での取り組みを共有し、他事業所の良い取り組みなどを取り入れた。毎月の水光熱費の増減の分析などを行い、季節によつての給湯器の温度設定の変更など細かなところも職員一丸となって取り組んだ。備品係では、日用品の価格分析、消費分析などをおこないながら経費削減に務めた。	A	分析のうえ経費削減に取り組み、水道光熱費と消耗器具備品費が前年度比1割以上の経費削減を行っており、省エネルギーが適切に実施されている。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した。	B	指標どおりであった。
	安心・安全の確保	・避難訓練等の実施(月1回以上) ・業務マニュアルの見直し	避難訓練は、様々な想定で13回、防犯訓練2回、救命救急訓練1回など実施した。今年度もヒヤリハットはこまめに収集(1403枚)し、毎月分析検討、事故防止啓発に努めた。リスクマネジメントに係る研修も年2回実施。防災に係る備蓄についての見直し(マニュアルも含め)を実施している。	A	利用者の安全確保対策を徹底している。
	個人情報保護の徹底	・施設内研修の実施(1人あたり年1回以上) ・業務マニュアルの見直し	新年度研修時に個人情報のマニュアルの確認読み合わせを全員でおこなった。再度声に出して読むことによつて、これからの1年間も個人情報の保護に努めるための啓発の機会とした。	B	指定管理者が管理する個人情報について、漏えい、紛失等の事故防止のため管理体制を整え、職員に啓発する取組を行っている。
	関係機関との連携等	会議等への積極的な参加(年12回以上)	新潟市・市児童相談所との定例会議、地域連携会議、担当者会議、自立支援計画会議、各区要対協、各協議会への参加、延べ46回に参加した。	A	要保護児童の状況の把握や情報交換のため、要対協等関係機関との連携強化に積極的に努めている。
	地域との交流	地域行事への参加等、地域との交流を6回以上実施	コロナ禍となり、地域との交流を積極的にはいかなかったが、状況をみながら子育て支援センターちゅうりっぷを利用したり、鳥屋野体育館を利用するなどした。毎週きてくださるボランティアさんとの関わりなどはあった。集落地にない施設のため、地域の行事はない。自治会はないが、主任児童委員や民生委員との協議会には参加。	B	コロナ禍においても出来る限り積極的な交流を行い、子どもの健全育成につなげている。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
	社会・地域への貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者からの調達率90%以上	97%	B	指標どおりであった。
	里親支援の実施	里親研修の受け入れ年2回以上	養育里親研修2日間を24名受け入れた。訪問、外出支援、アフターフォロー、電話相談、離乳食講座など多岐にわたり里親支援を実施。イベント主催も2回、里親研修会も4回開催した。	A	多数の受け入れを行っている。
人 材	適正な人員配置	条例で定めた基準を上回る職員数の配置	1.3対1以上の配置、FSWは2名とうち1名を里親担当するなどして自助努力を実施した。	A	高水準の職員配置を行っている。
	配置職員の資質向上	計画的な研修の実施年10回以上	施設外研修延べ38日55人 施設内研修延べ39日29人 法人研修14回13人	A	研修を多数実施し、運営の質の向上に努めている。
	ボランティアとの連携	ボランティアの受け入れ人数年間延べ10人以上	コロナ禍ではあったが、ボランティアにも健康管理をお願いしながらきていただいた。感染拡大時期は受け入れを中止した。年間延べ141人	A	コロナ禍においても出来る限り積極的な受け入れを行っている。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	適切に実施されている。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設運営においては、厚生労働省発出の「乳児院運営指針」を拠り所とし、第三者評価基準をもとに自己評価を実施している。当施設においての地域交流というところでは、地域の中に存在する施設としての地域住民との相互の交流というのは、難しいと考えている。近隣の八千代保育園の子育て支援センターや鳥屋野体育館など中央区にある公的施設を利用することなどで、そこを利用する地域の方と交流することとしている。地域交流に関しては課題だと感じているが、施設に暮らす子どもたちにとっての「地域交流」は模索していきたい。

昨年度に引き続き、里親支援については新潟市児童相談所の里親支援への協力として、養育里親研修の実習の受け入れ(24名)、施設を会場としての専門職の里親研修(公認心理師・FSW・看護師・保育士)を4回受け持ち実施し、里親登録されている方々との交流を行った。養育里親研修の実習の受け入れ後に実施しているアンケートでは、施設の雰囲気、職員同士の連携、子どもへの対応などは良好であるとの評価をいただいている。

また、今年度の特筆すべき点としては、当施設の「食事支援の取り組み」が、今後子ども家庭庁から出される予定の「児童福祉施設等における食事の提供ガイド」の好事例として掲載され、それに伴い「母子保健指導者研修」の事例発表をさせていただけたことである。「小規模ユニットにおける栄養・食生活支援の取り組み」として、当施設で施設全体で取り組んでいる食事の支援について紹介させていただく機会を得た。食事支援においても、他職種が連携して施設全体としてPDCAを基本として行われていることを評価していただいた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

コロナ感染拡大防止に努めながら、里親制度拡充のため、研修の実施や質の高い里親支援を実施できている。また、施設の食事支援の取り組みが、子ども家庭庁発出の調査研究報告書に好事例として掲載されたが、現場の職員が子ども一人一人の「最善の利益」に向け取り組んだ結果、先駆的な取り組み事例として当市から全国に発信できたことを高く評価する。関係機関との連携強化のため会議等に積極的に参加し情報交換をする等、地域社会の子育て支援の一員として地域にとけこんでいるほか、安全管理や経費削減を実施し良好な施設運営が行われている。以上の理由により指定管理者として優良と評価する。